

## 子どもと絵本をたのしみましょう

講師：小澤 佐季子

（梅花幼稚園絵本クラブ「こうめ文庫」講師）

### <第1部 絵本をよむときに意識したいこと>

- 1, 自己紹介 『絵本と子どものであう場所』
- 2, この動画について
- 3, 絵本をよむときに意識したいこと  
はじめに、『キャベツくん』をよんでみる。

#### 1) 絵本選びについての二つの視点

##### ①子どもの立場になって

- ・年齢
- ・人数

絵が細かい絵本は10人位まで。

例) 『ねずみくんのチョッキ』『14ひきのあさごはん』『りんごかもしれない』

絵がはっきりしていたり、子どもをひきつける内容の絵本は、20人位でも大丈夫。

例) 『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』『もこもこもこ』

30人以上の場合は、大型絵本を使用。

例) 『ねずみくんのチョッキ』

- ・絵本歴、子ども自身の好みを探る

##### ②あなた自身の視点。

- ・「この絵本好き！」の感覚を大切に。絵本をよくよみ、ふだんから、絵本について学ぶ姿勢が大事。
- ・1冊の絵本には、作家、編集者、印刷をはじめ絵本製造に関わった人の思いが詰まっている。
- ・<絵本を伝える伝道師> 絵本選びは、よみ手の自己表現の一つ
- ・子どもと絵本をよむなかで、絵本について学ぶ。
- ・40年、50年以上読み継がれてきたロングセラー絵本の力。話題の新しい絵本ばかりでなく、ずっと読み継がれてきた絵本も大事にしていく。

#### 2) 絵本のよみ方①

- ・導入・雰囲気作りの大切さ。

例) 『はらぺこあおむし』『まどのそとのそのまたむこう』

- ・表紙、見返し、タイトルページなど、丁寧にじっくりみせて、ゆっくりめくる。

- ・絵本の持ち方や指さしなど、絵本の見せ方とタイミングの大切さ。

例)『かいじゅうたちのいるところ』『パンダ銭湯』

絵本＝舞台や映画のよう。おはなしの世界に入っていき仕かけがある。

### 3) 絵本のおよみ方② 子どもを意識しながらの絵本に合わせたよみ方の例

- ・『これはのみのピコ』

一緒に言ってみたり、早口で唱えるようによんでいくとおもしろい。

- ・『ねえ、どれがいい?』

参加型の絵本。子どもがいろいろと話してくるので、子どもとのやりとりを楽しむ。

- ・『くいしんぼうのあおむしくん』

ほとんど発言のない絵本。聞いている子どもの表情、よみ終わったときの余韻を大切にする。

- ・『こわめっこしましょ』

ページをめくるタイミングと、可愛い表紙や裏表紙のイメージとのギャップを意識。

☆「よんであげる」のではなく、一緒に絵本をたのしむ姿勢が大事。

- ・よんだ後 余韻が大事。無理に感想を求めたりする必要はない。
- ・子どもがどのように絵本をきいていたか、簡単に記録しておくのがおすすめ。
- ・おはなし会の場合、自分だけでなく、数人で、絵本についての意見交換をする→子どもの反応についての絵本についての発見→絵本のおよみ方への深まり
  
- ・子どもは絵本の絵をよくみていて、絵本の深いテーマなども感じとったりできる。  
子どもに早くから文字を教えると、文字に目がいき、絵がよめなくなるデメリットもある。  
子どもと共に楽しみ、子どもから学ぶ姿勢を大切に。

## 4, おはなし会とおうちでの絵本よみについて

### 1) おはなし会

- ・絵本のテーマ 季節、行事、絵本作家ほか
- ・子どもに伝える・子どもの気持ちを意識する、漠然に全員にではなく、「〇〇くんに伝えたい!」などと意識することも有効

### 2) おうちでの絵本よみ

- ・生活のなかで、絵本の世界やことばを共有する楽しさ。
- ・何度も同じ本をよんでと言ってくるときは、つきあって。
- ・ヤフーニュースで、読み聞かせが苦痛なお母さんの記事について思うこと。(2021年9月11日配信「絵本の読み聞かせ」9割がツライと回答… 親の理想と現実に臨床心理士「無理なく工夫することも大事」<https://news.yahoo.co.jp/articles/d5c8bcaaea5516d335a06bcf9e61ee387b64d31d>)
- ・図書館などでの「おはなし会」を利用しましょう。(「おはなしのおばさん」は、特別な存在。)
- ・絵本づくりのすすめ

<第1部でとりあげた本・絵本>

- 『絵本と子どものであう場所』 三宅興子 共著 翰林書房  
『キャベツくん』 長新太／作 文研出版  
『ねずみくんのチョッキ』 なかえよしを／文 上野紀子／絵 ポプラ社  
『14 ひきのあさごはん』 いわむらかずお／作 童心社  
『りんごかもしれない』 ヨシタケシンスケ／作 ブロンズ新社  
『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』 長谷川義史／作 BL 出版  
『もこ もこもこ』 元永 定正／絵 谷川 俊太郎／文 文研出版  
『まどのそとのそのまたむこう』 モーリス・センダック／作 脇明子／訳 福音館書店  
『かいじゅうたちのいるところ』 モーリス・センダック／作 じんぐうてるお／訳 富山房  
『こわめっこしましょ』 tupera tupera／作 絵本館  
『パンダ銭湯』 tupera tupera／作 絵本館  
『これはのみのピコ』 谷川 俊太郎／文 和田 誠／絵 サンリード  
『くいしんぼうのあおむしくん』 榎 ひろし／文 前川 欣三／絵 福音館書店  
『ねえ、どれがいい?』 ジョン・バーニンガム／作 松川 真弓／訳 評論社  
『はらぺこあおむし』 エリック・カール／作 もり ひさし／訳 偕成社  
『おもち』 彦坂 有紀・もりと いずみ／作 福音館書店  
『おもちのきもち』 かがくいひろし／作 講談社

書店や図書館にたくさんの絵本が並んでいるけれど、なにをよんでいいのかわからないという声を聞くので、第2部、第3部では、年齢や発達に合わせて、おすすめの絵本を紹介します。たくさんよめばよいというわけではないので、お子さんのお気に入りの本をみつけてください。個人差も大きいので、絶対にこの通りに、などとは思わず、柔軟にみてください。もしも、みなさんの参考になればうれしく思います。

<第2部 0. 1. 2歳の子どもたちと絵本>

日本での赤ちゃん絵本の歩み

- 『ちいさなうさこちゃん』 ディック・ブルーナ 文・絵 /いしい ももこ 訳 福音館書店  
『いないいないばあ』 松谷 みよ子／作 瀬川 康男／絵 (童心社)  
『にんじん』『いやだいやだ』『もじゃもじゃ』『ねないこだれだ』 せなけいこ／作 福音館書店(「いやだいやだの絵本」シリーズ)  
『こぐまちゃんどうぶつえん』 わかやまけん／作 こぐま社  
『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん／作 こぐま社  
『絵本は心のへその緒 赤ちゃんに語りかけるということ』 松居直 ブックススタート

## 0歳

わらべうたやスキンシップの時期

- 『じゃあじゃあびりびり』 まついのりこ／作 偕成社  
『いないいないばあ』 松谷 みよ子／作 瀬川 康男／絵 童心社  
『がたんごとんがたんごとん』 安西水丸／作 福音館書店  
『だるまさんが』 かがくいひろし／作 ブロンズ新社

いろやかたち 美しい絵との出会い

- 『まるてん いろてん』 中辻悦子／作 福音館書店（0.1.2.えほん）  
『かおかおどんなかお』 柳原良平 こぐま社  
『ひよこさん』 征矢清／文 林明子／絵 福音館書店（0.1.2.えほん）

音やことばをたのしむ！

- 『もこ もこもこ』 元永 定正／絵 谷川 俊太郎／文 文研出版

わらべうた絵本

- 『えんやらりんごの木』 松谷みよ子／文 遠藤てるよ／絵 偕成社  
『へっこぷっとたれた』 こがようこ／文 降矢なな／絵 童心社  
『あがりめさがりめ』 ましませつこ／作 こぐま社

## 1歳

身近な生活

- 『きゅっ きゅっ きゅっ』 林明子／作 福音館書店（くつつあるけのほん）  
『どうすればいいのかな？』 わたなべしげお／文 おおともやすお／絵 福音館書店  
『おつきさま こんばんは』 林明子／作 福音館書店（くつつあるけのほん）

だいすきな たべもの

- 『おにぎり』 平山英三／文 平山和子／絵 福音館書店  
『くだもの』 平山和子／作 福音館書店  
『おいもさんがね…』 とよた かずひこ／作 童心社

だいすきな どうぶつ・のりもの

- 『どうぶつのおかあさん』 小森厚／文 藪内正幸／絵 福音館書店  
『バルンくん』 こもり まこと／作 福音館書店  
『いろいろバス』 tupera turera／作 大日本図書

おさんぽ うんち

『どんどこ ももんちゃん』 とよた かずひこ／作 童心社

『うんちがぼとん』 アロナ・フランケル／作 さくま ゆみこ／訳 アリス館

『みんなうんち』 五味太郎／作 福音館書店

絵本であそぼう

『きんぎょがにげた』 五味太郎／作 福音館書店

『ぴょーん』 まつおかたつひで／作 ポプラ社

『ぺんぎんたいそう』 齊藤模／作 福音館書店

めくって楽しむ しかけ絵本

『ごあいさつあそび』 きむらゆういち／作 偕成社

『コロちゃんはどこ？』 エリック・ヒル／作 評論社

『やさいさん』 tupera tupera／作 学研

## 2歳

日常から発展した物語

『しろくまちゃんのほっとけーき』 わかやまけん／作 こぐま社

『わにわにのおふろ』 小風さち／文 山口マオ／絵 福音館書店

『はけたよはけたよ』 かんざわとしこ／文 にしまきかやこ／絵 偕成社

『ぞうくんのさんぽ』 なかのひろたか／作 福音館書店

『でんしゃでいこう』 でんしゃでかえろう 間瀬なおひさ／作 ひさかたチャイルド

『ノンタンぶらんこのせて』 キヨノサチコ／作 偕成社

少し長めのおはなし（3歳頃）

『あかたろうの1・2・3の3・4・5』 きたやまようこ／作 偕成社

『だんごころころ』松谷みよ子／文 和歌山静子／絵 童心社（「あかちゃんのむかしむかし」シリーズ）

『わたしようちえんにいくの』 ローレンス・アンホールト／作 キャスリーン・アンホールト／絵  
角野 栄子／訳 文化出版局

<第3部 3. 4. 5歳の子どもたちと絵本>

**3歳**

たべものの魅力はすごい！

- 『はらぺこあおむし』 エリック・カール／作 もりひさし／訳 偕成社  
『フルーツケーキいただきます』 岡村 志満子／作 ポプラ社  
『パン どうぞ』 彦坂有紀・もりといずみ／作 福音館書店  
『まるくて おいしいよ』 小西英子／作 福音館書店

小さな発見を楽しむ

- 『14ひきのあさごはん』 いわむらかずお／作 童心社  
『バムとケロのちようび』 島田ゆか／作 文溪堂

リズムカルな言葉とファンタジー

- 『わたしのワンピース』 にしまきかやこ／作 こぐま社  
『タンタンのハンカチ』 いわむらかずお／作 偕成社

インパクトのある表紙 「安心できる結末」が大事

- 『しずくのぼうけん』 マリア・テルリコフスカ／文 ボフダン・ブテンコ／絵 内田莉莎子／訳 福音館書店  
『すてきな三にんぐみ』 トミー・アンゲラー／作 いまえよしとも／訳 偕成社  
『かいじゅうたちのいるところ』 モーリス・センダック／作 じんぐうてるお／訳 富山房

シンプルな昔話 <繰り返しの魅力>

- 『おおきなかぶ』 A・トルストイ／再話 内田 莉莎子／訳 佐藤 忠良／絵 福音館書店  
『おおかみと七ひきのこやぎ』 グリム童話 フェリクス・ホフマン／絵 瀬田 貞二／訳 福音館書店  
『三びきのやぎのがらがらどん』 ノルウェーの昔話 マーシャ・ブラウン／絵 せたていじ／訳 福音館書店

おばけ大好き (2歳頃から)

- 『ねないこだれだ』 せな けいこ／作 福音館書店  
『おばけのてんぷら』 せな けいこ／作 ポプラ社  
『おばけがぞろぞろ』 ささきまき／作 福音館書店

## 4歳

おもしろいことば

『ぼちぼちいこか』 マイク・セイラー／文 ロバート・グロスマン／絵 今江 祥智／訳 偕成社

『これはのみのぴこ』 谷川 俊太郎／文 和田 誠／絵 サンリード

『へんしんトンネル』 あきやまただし／作 金の星社

『もこ もこもこ』 たにかわしゅんたろう／文 もとながさだまさ／絵 文研出版

わかりやすいストーリー／シリーズへの広がり

『からすのパンやさん』 かこさとし／作 偕成社

『11ぴきのねことあほうどり』 馬場 のぼる／作 こぐま社

『14ひきのおつきみ』 いわむらかずお／作 童心社

かわいい絵本（小さな動物・お姫さま）

『だいすきハムスター』 堀 浩／監修 内山 晟／写真 ひさかたチャイルド

『エラと眠れる森の美女』 ジェームズ・メイヒュー／作 灰島 かり／訳 小学館

『ラプンツェル』 グリム／原作 サラ・ギブ／絵 角野栄子／訳 文化出版局

うんち本・からだの本は大事！

『うんちがぼとん』 アロナ・フランケル／作 さくまゆみこ／訳 アリス館

『うんちしたのはだれよ！』 ヴェルナー・ホルツヴァルト／文 ヴォルフ・エールブルッフ／絵  
関口 裕昭／訳 偕成社

『ぼくのトイレ』 鈴木のりたけ／作 PHP 研究所

『はなのあなのはなし』 作・絵： やぎゆう げんいちろう 福音館書店

こわくておもしろい！

『おばけやしき』 ピエンコフスキー／作 大日本絵画

『ねむいねむいねずみ』 佐々木 マキ／作 PHP 研究所

『すてきな三にんぐみ』 トミー＝アンゲラー／作 いまえよしとも／訳 偕成社

日常のすぐそばにあるファンタジー

『かいじゅうたちのいるところ』 モーリス・センダック／作 じんぐうてるお／訳 富山房

『めっきらもっきらどおんどん』 長谷川 摂子／作 ふりや なな／絵 福音館書店

『よるのようちえん』 谷川 俊太郎／文 中辻 悦子／絵・写真 福音館書店

ようこそ、ナンセンス時代へ（年中の後半頃から）

『キャベツくん』 長 新太／作 文研出版

『ぶたのたね』 佐々木 マキ／作 絵本館

『アナボコえほん』 井上 洋介／作 フレーベル館

## 5歳

### 知識の広がり

- 『立体で見る [星の本]』 杉浦 康平、北村 正利／作 福音館書店  
『世界昆虫記』 今森光彦／文、写真 福音館書店  
『絵でみる世界大恐竜地図』 ジュリアノ フォルナリ、ウィリアム リンゼー /作 同朋社  
『たたかえ恐竜トリケラトプス』 黒川みつひろ／作 小峰書店

### なぞなぞ

- 『なぞなぞな～に はるのまき』 いまきみち／作 福音館書店

### ナンセンス

- 『ぼちぼちいこか』 マイク・セイラー／文 ロバート・グロスマン／絵 今江 祥智／訳 偕成社  
『さるのせんせいとへびのかんごふさん』 穂高 順也／文 荒井 良二／絵 ビリケン出版

### 体（歯への興味）

- 『がいこつさん』 五味太郎／作 文化出版局  
『むしばミュータンスのぼうけん』 かこさとし／作 童心社  
『おっぱいのひみつ』 柳生 弦一郎／作 福音館書店

### もっと、こわい！ こわさが深まっていく

- 『妖怪なぞなぞめくり 家の中の巻』 水木しげる／作 こぐま社  
『くいしんぼうのあおむしくん』 榎 ひろし／文 前川 欣三／絵 福音館書店  
『ゼラルダと人喰い鬼』 トミー・ウンゲラー／作 田村 隆一、麻生 九美／訳 評論社

### わるい子のはなし 子どものもやもや

- 『おっとあぶない』 マンロー・リーフ／作 わたなべしげお／訳 復刊ドットコム  
『ピエールとライオン』 モーリス・センダック／作 じんぐうてるお／訳 富山房  
『ブルーカンガルーがやったのよ！』 エマ・チチェスター・クラーク／作 まつかわ まゆみ／訳 評論社

### おはなしの世界の深まり

- 『とべバッタ』 田島征三／作 偕成社  
『おおはくちょうのそら』 手島圭三郎／作 絵本塾出版（リブリオ出版）  
『ラチとライオン』 マレーク・ベロニカ／作 とくながやすもと／訳 福音館書店

### 長谷川集平 年長男子からの支持

- 『はせがわくんきらいや』 長谷川集平／作 復刊ドットコム  
『トリゴラス』 長谷川集平／作 文研出版

『あしたは月よう日』 長谷川集平／作 文研出版

『すいみんぶそく』 長谷川集平／作 童心社

#### 本格的なむかしばなし

『三びきのこぶた』 イギリスの昔話 瀬田貞二／訳 山田 三郎／絵 福音館書店

『くわずにようぼう』 稲田和子／文 赤羽末吉／絵 福音館書店

『かにむかし』 木下順二／作 清水崑／絵 岩波書店

#### 落語の絵本

『じごくのそうべえ』 田島 征彦／作 童心社

#### 昔話のパロディ

『3びきのかわいいおおかみ』 ユージーン・トリビザス／文 ヘレン・オクセンバリー／絵 こだま  
ともこ／訳 富山房

#### ことば、詩の本

『あっちゃんあがつく たべものあいうえお』 みねよう／原案 さいとうしのぶ／絵 リーブル

『のはらうた』 くどうなおことのはらみんな／作 童話屋

#### 小学校以降でのおすすめ絵本の一例として

『せいめいのれきし』 バージニア・リー・バートン／作 石井 桃子／訳 岩波書店

『人間』 加古 里子／作 福音館書店